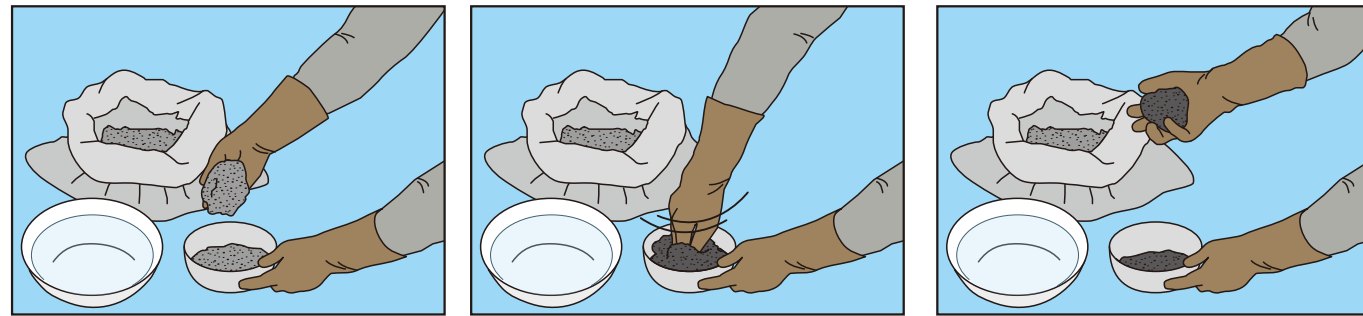


パウダックス止水の調合法

1. 調合には、ゴム手袋、ゴム容器（通常は15cm径程度のゴムまりを半分に切ったもの）を用います。
2. ゴム容器にパウダックス止水100：水20～25（重量比）の割合で入れ、すばやく練り合わせます。
3. ゴム容器で練り合わせたパウダックス止水をダンゴ状にし、Vカット部分に充填します。
4. パウダックス止水は約30秒で凝結をはじめ、1分30秒程度で完全に凝結が完了しますので、1回で使用できる量を混練して下さい。



試験成績表

試験項目	品質基準	結果	試験方法
硬化時間	120秒以内で硬化すること	105秒	社内試験方法
付着強さ	1.0N/mm ² 以上	1.8N/mm ²	JIS A 6916 : 2014 7.13
透水性	5ml以下	2.7ml	JIS A 6916 : 2014 7.15
曲げ試験	4.9N/mm ² 以上	6.7N/mm ²	JIS R 5201 : 1992 10
圧縮試験	34.3N/mm ² 以上	36.4N/mm ²	JIS R 5201 : 1992 10

・積算比重は1.6

▲ 施工・管理上の注意

- ①材料は直射日光を避け、雨や雪などのかからない湿気の少ない所に保管し、床に直接置かないようにして下さい。
- ②パウダックス止水は、ゴム手袋を使用し、手を荒さないように注意して下さい。
- ③取扱いおよび塗装作業中は、出来るだけ皮膚に触れないように、保護眼鏡、等の保護具を着用して下さい。
- ④セメント系塗材にはセメントが含まれているので、粉体の吸い込み、アルカリ性による肌荒れ等しないように注意して下さい。
- ⑤取扱いおよび塗装作業後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を行って下さい。
- ⑥目に入った場合には直ちに多量の流水で15分以上洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ⑦皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑧シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- ⑨施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上り不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ないおそれがあります。
- ⑩施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。
- ⑪施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート（SDS）をご確認下さい。

 **株式会社 ダイフレックス**
DYFLEX

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

DIA

無機質接着性急結止水材

パウダックス止水



止水性

優れた止水性で、内・外防水にも使用可能です。

安全性

有毒成分を含んでいないため密閉した場所でも使用できます。

パウダックス止水の特長

高い安全性と施工性。優れた止水効果を発揮します。

耐久力

特殊な無機質成分からなり、塩化カルシウム系、ケイ酸ソーダ系の物質は全く含まないため硬化体の劣化はなく、構造体と同一の耐久力を持っています。

優れた止水性

急結性であり硬化が始まると同時に大きな強度を発現し、優れた止水性を発揮、また水の吸水及び透水はモルタルやコンクリートに比べ非常に少なく、早期より緻密な構造物を形成します。

作業性

水を加えるだけで凝結するので、扱い易く、また鉄筋などの金属を腐食するおそれは全くありません。多くの急結止水材のもつ変質（変色・強度の劣化）などの問題も解決されています。

安心

有毒な成分や可燃性成分を含んでいないため、トンネル、地下室等の作業に使用できます。

接着力

コンクリートへの接着強度は抜群で無機質材料の欠陥である塗り重ねによる接着不良による心配もありません。

パウダックス止水の用途

1. 地下コンクリート構造体の漏水止水

トンネル、地下鉄、上下水道、共同溝、ダム発電用水路、坑道、ピットなどの地下コンクリート構造体の亀裂、ジャンカ、打継部、エキスパンションジョイントからの漏水止水。

2. セグメント継ぎ目などの漏水止水

コンクリートセグメント、鑄造セグメント、スチールセグメントの継ぎ目、ボルト穴からの漏水止水、コンクリートセグメントの破損箇所の補修。

3. 鉄管などのパイプまわりからの漏水止水

4. その他の用途

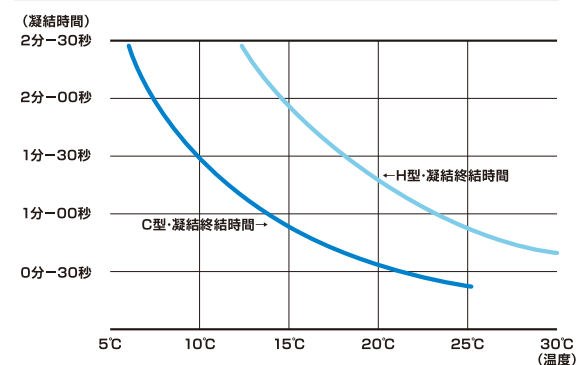
ヒューム管などのジョイント充填、コンクリート、モルタル欠損部の充填。

パウダックス止水の種類

パウダックス止水には、C型とH型の2種類があり、施工時間、施工時の温度などの施工条件に応じて使い分けます。

C型・H型の温度と凝結時間

品種	温度	凝結時間
C型	10℃	1分30秒±20秒
H型	20℃	1分30秒±20秒



パウダックス止水の荷姿

パウダックス止水 C型



20kg
角缶 (10kg入ビニール袋×2)

パウダックス止水 H型

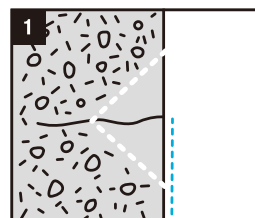


20kg
角缶 (10kg入ビニール袋×2)

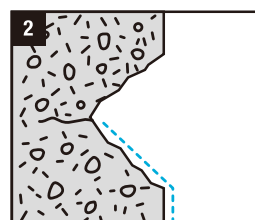
パウダックス止水

パウダックス止水の仕様

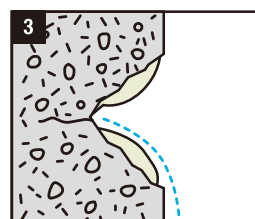
漏水量や流速の少ない場合



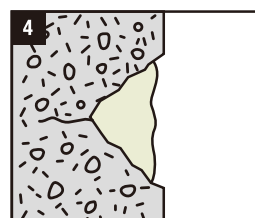
コンクリート面で漏水しているクラック、穴等は巾、深さとも5~10cm程度にVカットします。



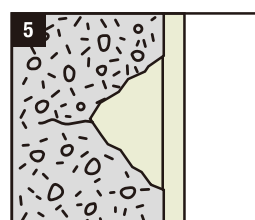
コンクリートのジャンカ部から漏水している場合は、ジャンカ部分を完全に取り除き、正常のコンクリート下地を露出させます。Vカット部に鉄筋がある場合は、その周囲は十分にはつりまです。Vカットした表面は水洗いしてきれいにします。



漏水源はその囲りを周囲から順次うめ込んでいき、固めていきます。



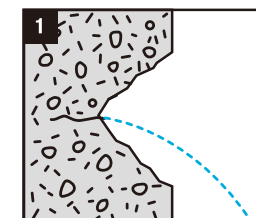
漏水源へはパウダックス止水が凝結を始める直前に強く押し込み、固まるまでそのまま手で押さえつづけます。



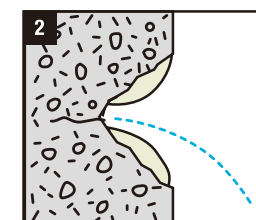
最後に躯体と同一面になるまでパウダックス止水を充填し、コテか手のひらで平滑に仕上げます。さらにパウダックス防水※をハケ塗りして、防水性、化粧性を高めます。

※パウダックス防水は、ケイ酸系塗布防水材です。詳細は、別途カタログを用意しておりますので、お問い合わせ下さい。

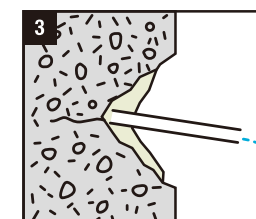
漏水量の多い時や水圧の高い場合



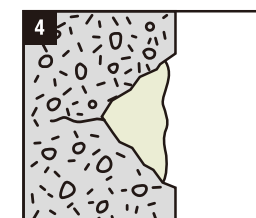
漏水箇所をVカットします。



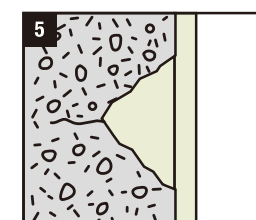
まず、漏水源のまわりからパウダックス止水でうめ込んでいきます。



漏水源へゴムホースかビニールホース (1~2cm径くらいのもの) を挿入し水を逃がしながら、ホースの周囲を十分にうめ込みます。



ホース囲りが完全に硬化してからホースを抜きとり、ホース跡へパウダックスが凝結を始める直前に強く挿入、うめ込んで固まるまで手で押さえつづけます。特に水圧の激しい時はホース跡へ木栓かウエスを挿入してからパウダックスを充填します。



最後に躯体と同一面になるまでパウダックス止水を充填し、コテか手のひらで平滑に仕上げます。さらにパウダックス防水※をハケ塗りして、防水性、化粧性を高めます。

※パウダックス防水は、ケイ酸系塗布防水材です。詳細は、別途カタログを用意しておりますので、お問い合わせ下さい。

水質試験

パウダックス止水は、成分上毒性はなく、硬化物の浸漬水について水質検査を行った結果、水道法に基づく水質基準に適合しております。

